

○要介護認定率の状況(令和5年3月末現在)

令和4年度 要介護認定率(計画)

計画数値(第1号) ※保険料算出ワークシート		R4実績数値 ①(②+③)			②前期高齢者		③後期高齢者		参考(R3)
		人数	計画対比	達成率	人数	内訳	人数	内訳	
要 支 援 1	192	220	28	114.6%	30	13.6%	191	86.8%	210
要 支 援 2	534	520	-14	97.4%	54	10.4%	466	89.6%	500
要 介 護 1	301	305	4	101.3%	19	6.2%	286	93.8%	297
要 介 護 2	466	453	-13	97.2%	27	6.0%	427	94.3%	476
要 介 護 3	414	422	8	101.9%	24	5.7%	400	94.8%	400
要 介 護 4	347	258	-89	74.4%	21	8.1%	239	92.6%	296
要 介 護 5	224	210	-14	93.8%	11	5.2%	200	95.2%	206
合 計	2,478	2,388	-90	96.4%	186	7.8%	2,209	92.5%	2,385
第1号被保険者数 ※65歳以上人口数値	10,781	10,728	-53	99.5%					10,814
認 定 率	22.98%	22.26%	-0.73%	-					22.05%

項目	計画との比較、結果分析等
認定率	<p>【計画との比較】 令和4年度末現在、要介護認定者数は計画数値を90人下回り、認定率も計画から0.73ポイント下回った。 第1号被保険者数自体が減少していること、介護予防事業及び介護サービスの適正利用を通じて、利用者の状態の維持、改善につながったことなどが要因と考える。 また、コロナ禍であり高齢者が外出、事業への参加を控える傾向にあるなか、地域における通いの場、サロン活動などが感染予防対策を講じながら、継続した取組をしていただいたことも要因の一つと考える。 これまで常に増加していた認定者数が、大きく増えることなく維持となったこと、要介護3～要介護5の中重度認定者数の総数が減少したこと、計画数値を下回ったことは評価でき、次年度以降も継続してこの状況を維持・改善できるように各種事業に取り組んでいく。</p> <p>【前年度との比較】 令和3年度末現在、第1号被保険者における要介護認定者数は2,385人(事業対象者除く)、認定率は22.05%であった。令和4年度末の認定率は22.26%で0.21ポイント上回ったが、認定率の伸び率は緩やか状況である。今後も継続して介護予防や健康づくりの取組強化が必要である。</p>

■令和4年度 第8期介護保険事業計画進捗状況表

○事業量及び介護給付費の状況

サービスの種類	区分	令和4年度								令和3年度		計画との比較、結果分析等
		①計画数値		②実績数値		計画対比 ③(①/②)		年度対比(R4/R3) ⑤(②/④)		④実績数値		
		事業量	給付費(円)	事業量	給付費(円)	事業量	給付費	事業量	給付費	事業量	給付費(円)	
訪問介護	介護	69,948 回/年	191,334,000	63,222 回/年	185,609,746	90.4%	97.0%	97.7%	97.5%	64,683 回/年	190,406,022	・計画数値を下回ったが、前年度と同程度のサービス量を維持することができた。 ・通所系サービスの利用による入浴介助などの増加、施設サービス利用の増加が、当該サービスの利用回数にも影響していると思われる。
訪問入浴介護	予防	60 回/年	475,000	0 回/年	0	-	-	-	-	0 回/年	0	・介護予防については、利用実績がなかった。 ・介護については、計画を下回った。利用者は重度者(要介護3~5)が多く、訪問介護と同様に施設サービス利用者の増加が、当該サービスの利用回数に影響していると思われる。
	介護	1,224 回/年	14,649,000	1,061 回/年	13,172,490	86.7%	89.9%	95.0%	94.7%	1,117 回/年	13,906,628	・計画値を下回ったものの、重度者(要介護3~5)の在宅生活の維持に大きく貢献しているサービスである。
訪問看護	予防	732 回/年	3,954,000	785 回/年	4,649,592	107.2%	117.6%	85.7%	86.0%	916 回/年	5,404,577	・介護予防では、計画数値を上回った。介護から介護予防への移行が、要因の一つと考えられる。
	介護	7,356 回/年	46,348,000	6,245 回/年	44,394,024	84.9%	95.8%	101.2%	104.3%	6,168 回/年	42,553,788	・介護では、計画数値を下回ったものの、前年度を超えるサービス量を維持することができた。
訪問リハビリテーション	予防	3,948 回/年	12,462,000	4,106 回/年	12,235,839	104.0%	98.2%	101.5%	106.0%	4,045 回/年	11,544,338	・介護予防・介護の両方について、計画数値を上回った。
	介護	11,076 回/年	34,236,000	11,505 回/年	33,793,978	103.9%	98.7%	93.9%	98.5%	12,254 回/年	34,304,931	・事業所の訪問体制の強化やコロナ禍での訪問リハビリの選択の増加などが考えられる。 ・令和4年度1事業所が開始されたこともあり、供給体制の強化につながった。
居宅療養管理指導	予防	240 人/年	1,666,000	277 人/年	1,521,243	115.4%	91.3%	109.1%	115.9%	254 人/年	1,312,590	・第7期計画の実績を基に計画数値で増加を見込んだが、それを大きく上回り需要が高まっている。
	介護	1,764 人/年	13,729,000	2,490 人/年	14,776,271	141.2%	107.6%	112.4%	110.3%	2,215 人/年	13,394,676	・在宅生活における医療機関等の関わりが強化されたと思われる。
通所介護	介護	44,076 回/年	350,335,000	34,588 回/年	287,135,190	78.5%	82.0%	92.3%	93.1%	37,488 回/年	308,350,401	・計画数値を下回る結果となったが、事業規模は大きく、介護サービスの中心的役割を担っている。 ・令和4年度途中に、1事業所が規模を縮小し、地域密着型へ移行したことも要因の一つと考えられる。 ・コロナ禍の感染症対策として、一時的に利用定員を少なくされた事業所もあった。
通所リハビリテーション	予防	1,248 人/年	46,073,000	1,035 人/年	36,778,858	82.9%	79.8%	96.5%	96.3%	1,072 人/年	38,186,076	・介護予防、介護ともに増加を想定していたが、計画を下回る結果となった。
	介護	13,164 回/年	115,521,000	11,068 回/年	90,662,900	84.1%	78.5%	98.6%	98.1%	11,230 回/年	92,397,872	・状態の改善、重度化防止の観点からリハビリ系サービスの需要は高いが、コロナ禍もあり利用増までには至らなかった。
短期入所生活介護	予防	294 日/年	2,015,000	301 日/年	2,136,525	102.4%	106.0%	156.0%	145.1%	193 日/年	1,472,289	・介護予防は計画数値を上回ったが、もともと実績が少ないため、大きな要因はない。
	介護	26,172 日/年	217,767,000	19,989 日/年	171,657,390	76.4%	78.8%	91.4%	91.9%	21,861 日/年	186,780,446	・介護は、計画数値を大きく下回り、前年度との比較でも減少している。 ・令和4年度は短期入所から特養へ5床の転換があり、定員は減少したものの、サービス提供体制は維持している。 ・コロナ禍の感染症対策として、一時的に利用定員を少なくされた事業所もあり、コロナにより大きな影響を受けたサービスの一つである。
短期入所療養介護	予防	36 日/年	321,000	50 日/年	393,724	138.9%	122.7%	227.3%	206.9%	22 日/年	190,251	・介護予防については、計画を上回っているが、もともと実績が少ないため、大きな要因はない。
	介護	2,964 日/年	31,050,000	578 日/年	6,010,120	19.5%	19.4%	74.1%	71.6%	780 日/年	8,399,502	・介護については、計画数値を大きく下回った。介護老人保健施設が利用増となり、空床が少なかったと推察する。また、コロナ禍の感染症対策として、一時的に受け入れを制限された事業所もあり、コロナの影響が大きかった。
特定施設入居者生活介護	予防	36 人/年	3,499,000	27 人/年	1,964,725	75.0%	56.2%	81.8%	89.1%	33 人/年	2,204,320	・介護予防については、計画を下回っているが、もともと実績が少ないため、大きな要因はなし。
	介護	372 人/年	64,784,000	253 人/年	44,036,205	68.0%	68.0%	98.4%	100.5%	257 人/年	43,817,444	・介護は、第7期計画期間に市内に1事業所が開設されたことを踏まえ、利用者数が増加すると推察したが、前年度程度となった。居住系のサービスとしての需要は高いが、入居にかかる利用者負担の課題もある。 ・他市施設のサービス利用も一定数ある。

■令和4年度 第8期介護保険事業計画進捗状況表

○事業量及び介護給付費の状況

サービスの種類	区分	令和4年度								令和3年度		計画との比較、結果分析等	
		①計画数値		②実績数値		計画対比 ③(①/②)		年度対比(R4/R3) ⑤(②/④)		④実績数値			
		事業量	給付費(円)	事業量	給付費(円)	事業量	給付費	事業量	給付費	事業量	給付費(円)		
福祉用具貸与	予防	3,540 人/年	23,961,000	3,975 人/年	27,919,571	112.3%	116.5%	102.1%	108.5%	3,893 人/年	25,735,357	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、要支援1～要介護1(軽度者)のサービス利用が増加しており、当該サービスの利用のみを希望する方も多い。 ・利用者の体調等が改善した場合は、貸与内容の見直し、貸与の終了も検討するようケアマネジャーに依頼している。 ・介護については、概ね計画どおりであるが、年々増加傾向にある。 	
	介護	7,800 人/年	107,723,000	7,612 人/年	110,687,340	97.6%	102.8%	101.4%	104.8%	7,504 人/年	105,620,571		
特定福祉用具販売	予防	48 人/年	1,089,000	57 人/年	1,250,439	118.8%	114.8%	114.0%	109.5%	50 人/年	1,142,141	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおりの結果となり、介護予防については前年度を上回っている。 ・福祉用具貸与の利用、通所介護事業所にて入浴サービスを受けるなど、外部サービスの利用度合が当該サービスの実績に影響していると思われる。 	
	介護	132 人/年	2,935,000	113 人/年	2,761,801	85.6%	94.1%	93.4%	96.5%	121 人/年	2,862,311		
住宅改修	予防	84 人/年	6,130,000	69 人/年	5,451,992	82.1%	88.9%	103.0%	120.3%	67 人/年	4,533,260	<ul style="list-style-type: none"> ・計画数値を大きく下回ったものの、前年度と同程度の実績となった。 ・福祉用具貸与が増加傾向にあり、手すり設置、段差解消などサービスメニューが重なる部分について、利用が減少したと推測する。 ・令和3年度より受領委任払い制度を開始し、サービス利用がしやすい体制を整えた。利用者数の大きな変化はなかったが、給付費が増加傾向にあり、工事単価が妥当な数値か検証する必要もある。 ・利用者の体調に合った住宅改修になるようリハビリ職が関与する仕組みの構築を目指していきたい。 	
	介護	144 人/年	10,985,000	65 人/年	4,952,235	45.1%	45.1%	98.5%	116.1%	66 人/年	4,266,988		
ケアプラン	予防	4,236 人/年	18,882,000	4,606 人/年	20,542,646	108.7%	108.8%	101.9%	102.2%	4,520 人/年	20,092,800	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号被保険者数の減少もあり、要介護認定者数が計画数値を下回った。(認定率は、上昇傾向) ・介護予防については、想定以上の増加となり、計画数値を上回る結果となった。介護から介護予防への移行による増加も要因である。 ・介護については、前年度程度であった。要介護認定者数の伸びが計画より鈍化しており、在宅サービス利用の中重度者が減少している傾向にある。また、介護保険施設の利用者が増加しており、当該サービスの利用減の要因の一つとなっている。 	
	介護	11,064 人/年	152,678,000	10,219 人/年	142,010,198	92.4%	93.0%	98.4%	99.9%	10,389 人/年	142,081,800		
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	介護	0 人/月	0	29 人/年	6,631,202	-	-	-	-	21 人/年	3,770,652	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所はなく、これまでの実績から計画数値を見込んでいないが、令和3年度から継続して、市外において利用があった。増加傾向にある。 ・次年度以降の実績を踏まえ、次期計画での推計を検討する。
	地域密着型通所介護	介護	16,392 回/年	134,015,000	16,423 回/年	135,311,639	100.2%	101.0%	105.3%	107.6%	15,602 回/年	125,783,504	<ul style="list-style-type: none"> ・計画では、第7期の実績から利用増を見込んでおり、概ね計画どおりとなった。 ・令和4年度途中に1事業所が、通所介護から地域密着型に移行されたことも要因である。 ・また、コロナ禍で一時的に事業所を休止せざるを得ない事業所もあったが、振替利用等の工夫をされ、影響を最小限に抑えられてもいた。
	認知症対応型通所介護	予防	0 回/年	0	0 回/年	0	-	-	-	-	0 回/年	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所数や定員に変更はない。 ・介護予防については、これまでの実績から計画数値を見込んでいない。実績もなし。 ・介護については、計画数値及び前年度を下回る結果となった。 ・通所介護と併設の事業所では、利用料等の関係から「通所介護」を選択されることが多くなっている。 ・施設併設の事業所では、施設内でのコロナ発生により、通所事業所への受け入れを制限せざるを得ず、影響を受けることもあった。
		介護	5,892 回/年	59,903,000	4,679 回/年	48,920,094	79.4%	81.7%	78.3%	78.5%	5,975 回/年	62,300,127	
	小規模多機能型居宅介護	予防	120 人/年	7,034,000	78 人/年	5,877,211	65.0%	83.6%	92.9%	94.3%	84 人/年	6,234,833	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防について、計画数値を下回ったものの昨年度程度の利用があった。 ・介護については、昨年度より利用者は増加したが、計画では、事業所の定員規模に合わせ利用増を見込んでおり、計画数値を下回る結果となっている。 ・通い、訪問、泊りを一体的に提供するサービスであるため、それぞれのサービスが提供される地域においては、選択されにくい状況もある。 ・第8期計画に基づき事業所整備を進め、令和4年度に1事業所の整備が完了した。令和5年度から運営を開始し、利用者増になることを期待している。
		介護	600 人/年	95,200,000	332 人/年	64,889,492	55.3%	68.2%	116.9%	123.3%	284 人/年	52,631,226	
	認知症対応型共同生活介護	予防	0 人/年	0	0 人/年	0	-	-	-	-	0 人/年	0	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防については、これまでの実績から計画数値を見込んでおらず、実績もなかった。 ・事業所の定員に増減はなく、概ね計画どおりに推移している。
		介護	840 人/年	206,677,000	842 人/年	210,540,774	100.2%	101.9%	98.0%	97.3%	859 人/年	216,466,288	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	介護	240 人/年	68,505,000	236 人/年	65,098,062	98.3%	95.0%	97.1%	93.1%	243 人/年	69,956,658	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の定員に増減はなく、概ね計画どおりに推移している。 	

■令和4年度 第8期介護保険事業計画進捗状況表

○事業量及び介護給付費の状況

サービスの種類	区分	令和4年度								令和3年度		計画との比較、結果分析等	
		①計画数値		②実績数値		計画対比 ③(①/②)		年度対比(R4/R3) ⑤(②/④)		④実績数値			
		事業量	給付費(円)	事業量	給付費(円)	事業量	給付費	事業量	給付費	事業量	給付費(円)		
施設サービス	介護老人福祉施設	介護	4,260 人/年	1,052,733,000	4,120 人/年	1,038,485,456	96.7%	98.6%	97.7%	97.7%	4,217 人/年	1,062,902,898	・令和4年度に事業所の定員が5床増加した。概ね計画どおりに推移している。
	介護老人保健施設	介護	1,740 人/年	467,539,000	1,936 人/年	539,298,912	111.3%	115.3%	104.4%	107.1%	1,855 人/年	503,677,043	・第7期計画の実績を踏まえ計画数値を見込んだが、市外の施設利用が増加しており、計画数値を上回った。
	介護医療院	介護	252 人/年	98,118,000	385 人/年	141,761,124	152.8%	144.5%	186.0%	192.1%	207 人/年	73,802,246	・市内事業所はなく、介護療養型医療施設からの転換分も一定数見込んでいたが、想定を大きく上回る利用となった。近隣市町にて介護医療院への転換が大きく進んだことが要因と思われる。 ・介護医療院の給付費が大きく増加しており、次期計画においてはきちんと精査し、費用を見込む必要がある。
	介護療養型医療施設	介護	144 人/年	49,364,000	65 人/年	18,889,897	45.1%	38.3%	40.4%	35.9%	161 人/年	52,659,861	・市内事業所はなく、計画ではこれまでの実績から計画数値を推移した。介護療養型医療施設は、介護医療院等への転換が進んでおり、大きく利用者の減となった。
その他給付費	特定入所者介護サービス費	-	-	139,660,000	-	124,604,665	-	89.2%	-	83.1%	-	150,023,126	
	高額介護サービス費等給付費	-	-	80,626,000	-	78,576,577	-	97.5%	-	100.6%	-	78,113,271	
	高額医療合算介護	-	-	12,500,000	-	11,384,428	-	91.1%	-	99.1%	-	11,486,415	
	審査支払手数料	-	-	3,600,000	-	3,513,790	-	97.6%	-	100.2%	-	3,505,650	
介護保険給付費合計		-	-	3,950,075,000	-	3,760,288,365	-	95.2%	-	99.6%	-	3,774,275,177	・令和3年度介護報酬改定(+0.70%) ・事業費について、計画対比95.2%、前年度対比99.6%となった。 ・令和3・4年度2年間では、計画対比96.3%となった。 ・介護給付費が年々増加する計画としていたが、昨年度とほぼ同程度の水準であった。 ・計画策定時の想定より、施設サービスの利用増、在宅サービスの利用減の傾向がある。 ・コロナ禍から、一定通常に戻りつつあり、サービス利用状況を注視していく。